

【自由投稿】

閑さや 岩にしみ入る 蟬の声

山形支部 武田達郎

これは誰でも知っている、芭蕉の句である。

2025年10月の晴れた日に、久しぶりに山寺に行って来た。奥の院まで何と1000の階段と岩を登る訳で、所々に手すりはあるが大変難儀であった。

下りは尚大変で、水分補給し休み休み降りて来たが、脹脛（ちょうけい=ふくらはぎ）がパンパンとなり登り口まで下りてホットした。

ここは昔から日本の靈場として信者の参拝者で賑わった。そして、石切の場でもあり山寺の石は有名で、蔵や家屋の土台や石垣、門柱等に細工され、それは高価なものでした。切り取った後は数10メートルの垂直の壁に、観音様が幾つも彫られてあるが、誰がどうやって彫ったのか謎である。

85歳にして御朱印帳4ヶ所から頂いてきたが、これが最後であろう。

丁度紅葉の時期もあり、驚いた事に外国人が大半で大型観光バスが5台もあつたから凄いと思った。



奥の細道と山寺



山寺山門



山寺登り口の石段



山寺の正式名称は、宝珠山立石寺
西暦860年慈覚大師が開山した古刹